

エスディーゼーズ
SDGs について考えてみよう

最終回 日本製紙グループとSDGs
全12回連載

宗田 鯉男 (そくだ がつお：
略してSDGs)です。今回
が最終回となります。一緒
に勉強していきましょう！



連載では、SDGsの17の目標ごとに当社グループの取り組みとの関連性を見てきましたが、統合報告書では当社グループにおいて、より関連性の高いSDGsを抜粋しています(これまでの連載は、下のウェブサイトで見ることができます)。

SDGsについて
考えてみよう
<https://bit.ly/2ZGKO1u>



全12回にわたる連載も、今回が最終回です。まとめとして、2019年9月末に発行された「日本製紙グループ統合報告書2019」P38に記載されている「日本製紙グループとSDGs」を題材に解説します。

気候変動をはじめとする環境問題、紛争や格差拡大など、世界は多くの社会課題に直面しています。SDGs(持続可能な開発目標)は、2030年に向けた世界の持続可能な成長のために国連で採択された17の目標です。世界各国が同意し、国だけでなく、企業など全ての団体・組織・個人の参画が強く求められています。

当社グループとSDGsの関わりについて、もう一度確認しましょう。

POINT 1

SDGsの達成は、「世界の人々の豊かな暮らしと文化の発展に貢献」するというグループ理念と合致しています。



グループ理念を実現することがSDGsの達成につながるのですね。

POINT 2

当社グループのバリューチェーンは、「持続可能な森林経営」と「紙製品のリサイクル」2つの循環を形成しています。

連載では、バリューチェーンを直線で示してきましたが、統合報告書では木質資源の循環に重ね合わせて示しています。木質資源を持続可能な形で利用することが、SDGsに大きく貢献すると分かりますね!



日本製紙グループのバリューチェーンと関わりの深いSDGsの目標

※ 日本製紙グループ統合報告書2019 P38より抜粋

+ 正の影響の強化

陸地の保全(原材料調達)

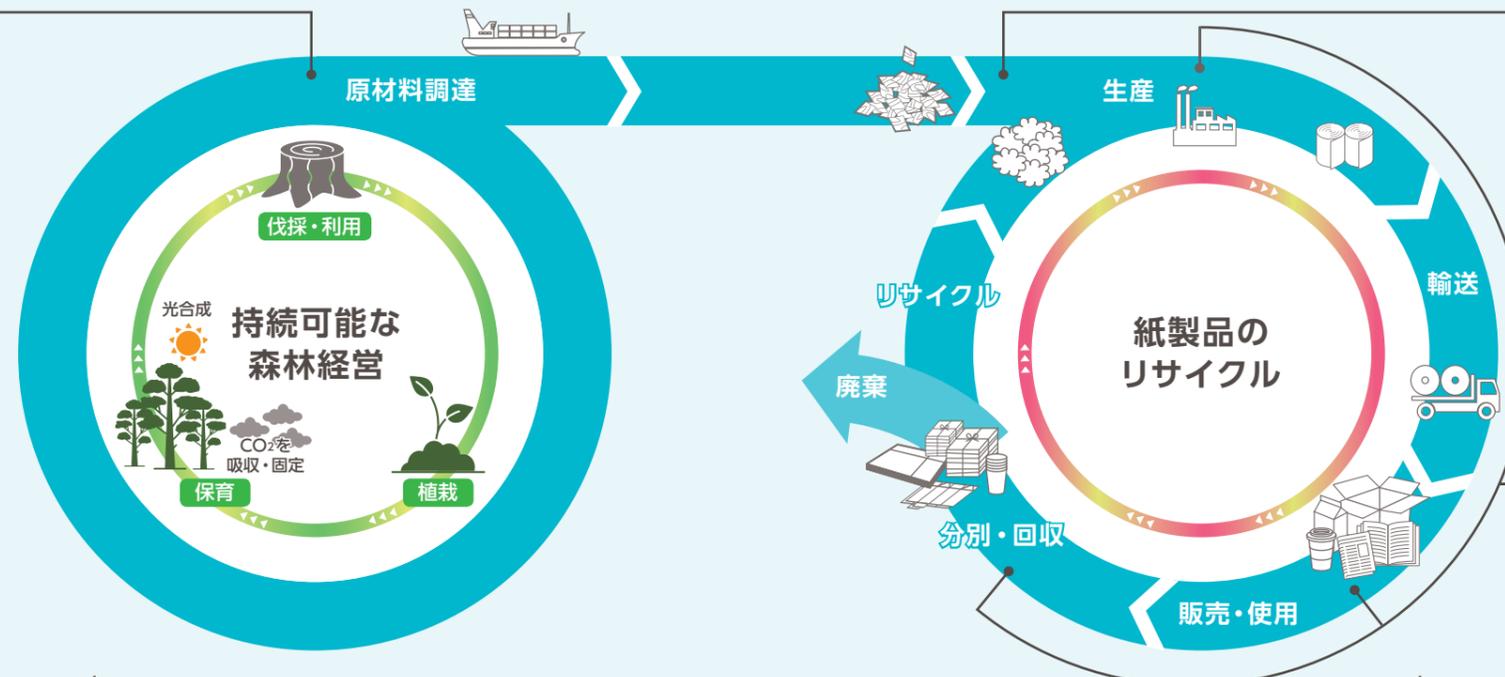
自社林の適切な管理によって、森林や生態系の公益的機能における正の影響を持続的に利用可能にします。



- 負の影響の低減

気候変動対策(原材料調達、生産、輸送、販売・使用、分別・回収・リサイクル・廃棄)

合法的かつ適切な調達を徹底することで森林の減少を抑制します。また、あらゆる事業活動においてCO₂排出抑制に努めます。



- 負の影響の低減

環境負荷の低減/健康的な生活(生産)

水質・大気・土壌への負荷物質の排出を抑制することで、自社の生産活動に伴う環境汚染を防ぎます。また、働く人々の病気・けがを防ぐため、職場の安全施策や教育・啓発に万全を期しています。



+ 正の影響の強化

環境と社会に配慮した製品の提供(生産、販売・使用、分別・回収・リサイクル)

再生可能な木質資源をさらに活用する技術革新を通じて、環境の保全と資源の持続性向上などに貢献します。



POINT 3

バリューチェーンを通じ、SDGsに対する正の影響を強化し、負の影響を低減していきます。



バリューチェーンの中で、代表的な正と負の影響が示されていますね。企業活動とSDGsを考えた場合、「目標〇〇に貢献します」など、SDGsの正の影響が目がいきがちですが、負の影響も十分に認識して、低減に努めることが重要ですね。



当社グループの事業は、SDGsと深く関わりがあることが連載を通じて理解できました。皆さんも、今までの業務をSDGsの視点で振り返ってみましょう。そして、当社グループの今後の事業や取り組みについても、考えてみてください。皆さんからのご意見も募集しています。アンケートでお答えください。今までありがとうございました。またどこかでお会いしましょう。



アンケート
<https://bit.ly/2P9DcMr>